

音楽科学習指導案

日 時 平成21年9月11日(金) 5校時
場 所 音楽室
授業学級 盛岡市立仙北中学校3年 組
(男子 名、女子 名 計 名)
授 業 者 教諭 吉岡 美紀

1 題材名

「混声合唱の響き」 ～合唱による豊かな歌唱表現をめざして～
教材『流浪の民』(課題曲)
『自己』(自由曲)

2 題材について

(1) 題材について

本題材は、学習指導要領〔第2学年及び第3学年〕2内容、A表現(1)ア「歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと」、ウ「声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと」、〔共通事項〕(1)ア「音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じること」をねらいとして設定したものである。

楽曲にはそれぞれ、その曲自体に込められた想いや情景がある。ここでねらいとする指導事項アでは、生徒自身がなぜこういうイメージや感情をもったのかという根拠を、旋律と強弱とのかかわり、リズムといった要素の働きの中に探すことによって、曲にふさわしい表現がどういう表現であるのかを理解させたい。また、指導事項ウでは、各声部がどのようにかかわり合って全体の響きが生まれているのかをテクスチャをもとに探り、声部と全体とのかかわりに着目した学習を目指したい。また、比較聴取や実際に歌う活動をとおして、より一層知覚・感受を深めさせたい。さらに、音楽に対する自分なりのイメージ、思いや意図などを発表し合う活動を設定することによって、自己の音楽に対する価値について、音楽の要素や構造から根拠を示しながら言葉で表す力をつけさせたい。以上〔共通事項〕アでは、旋律と強弱とのかかわり、リズム、テクスチャを知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じすることに焦点を絞って指導にあたりたい。

(2) 生徒について

本校第3学年は、これまで歌唱の授業を通して次のようなこと学習している。独唱曲においては、歌詞の意味内容や強弱を生かしつつ、その音楽にふさわしい発声や言葉の特性を大切に歌唱の表現を学んでいる。その際、曲の背景となる風土や文化が、発声や言葉の特性と音楽とのかかわりにどのような影響を与えているかを考える学習も行っている。合唱曲では、自分の担当する声部と他の声部との役割を理解しながら、全体の響きとのかかわりを大切に学習を行っている。その結果、曲種に応じた音色の変化、旋律の流れや転調、速度や強弱の変化、声部の役割を意識して歌唱表現しようとする姿が見られるようになった。しかし、それらの要素同士を関連させながら表現するには至っていない。この題材を通して、楽曲に対する自分なりのイメージ、思いや意図が、歌詞の内容や旋律と強弱、リズムといった要素のどんな働きによって生み出されたのかを知覚・感受させ、より深い歌唱表現につなげていきたい。「学習のきまり十箇条」にかかわっては、前時の復習や予習をさせることを通して、「1 チャイムの前に席に着く」「2 自習して先生を待つ」の定着を図ろうとしている。また、話し合い活動を円滑に行わせるためにも、「8 大きい声ではっきりと発言する」ことも身につけるように指導している。

(3) 指導について

①「教材とのかかわらせ方」について

音と音とのかかわりがどうなっているのか比較聴取させたり、歌詞の内容や曲想、旋律と強弱とのかかわり、リズムについても聴き取って感じ取らせたい。また、課題を明確にして提示し、音楽に対する自分なりのイメージ、思いや意図などをもとに、リーダーを中心にパートごとに話し合わせたり発表させたりすることによって、音楽に対する価値について音楽の要素や構造から根拠を示しながら言葉で表す力をつけさせる。

②「友達とのかかわらせ方」について

音楽に対する自分なりのイメージ、思いや意図などをもとに、リーダーを中心にパートごとに話し合わせたり、発表させながら課題解決に向けた意見交流をさせる。また、意見交流で出てきたものを焦点化し、課題を達成させることにより、豊かな歌唱表現につなげる。

3 題材の指導目標

<観点1 音楽への関心・意欲・態度>

・歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響き、旋律と強弱とのかかわり、リズム、テクスチュアに関心をもち、意欲的に歌唱表現する。

<観点2 音楽的な感受や表現の工夫>

・歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響き、旋律と強弱とのかかわり、リズム、テクスチュアを感じ取って、自分なりのイメージを持って表現の工夫をする。

<観点3 表現の技能>

・歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響き、旋律と強弱とのかかわり、リズム、テクスチュアを生かして、曲にふさわしい歌唱表現をする技能を身に付ける。

4 指導計画・・・・・・・・・・8時間

- (1) 歌詞の意味内容や情景、心情描写から曲の感じをつかむ学習活動 2時間
- (2) 旋律と強弱とのかかわり、リズムに着目した学習活動 4時間 (本時 2/4)
- (3) テクスチュアをもとに声部の役割と全体の響きに着目した学習活動 2時間

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ①歌詞の内容や旋律と強弱とのかかわりに関心をもち、意欲的に歌唱表現する。
(音楽への関心・意欲・態度)
- ②歌詞の内容や旋律と強弱とのかかわりを感じ取って、歌唱表現の工夫をする。
(音楽的な感受や表現の工夫)
- ③歌詞の内容や旋律と強弱のかかわりを生かして、歌唱表現する技能を身に付ける。(表現の技能)

(2) 本時の評価規準と具体的評価規準

	A 十分に満足できる	B 概ね満足できる	C 努力を要する生徒への手だて
【音楽への関心・意欲・態度】	学習プリントの課題に意欲的に取り組み、歌詞の内容や旋律と強弱とのかかわりについて、感じ取ったことや気付いたことを積極的に話し合ったり発表している。	学習プリントの課題に取り組み、歌詞の内容や旋律と強弱とのかかわりについて自分なりの考えをもって話し合ったり発表している。	友達の見解などを参考にしながら、歌詞の内容や旋律と強弱とのかかわりに関心をもたせる。
【音楽的な感受や表現の工夫】	歌詞の内容や旋律と強弱とのかかわりについて、なぜそこにその強弱記号がついたのかを考え、そのように考えた根拠について、複数気付いて記述したり発表したりしている。	歌詞の内容や旋律と強弱とのかかわりについて、なぜそこにその強弱記号がついたのかを考え、そのように考えた根拠について、いくつかある視点うち、一つでも記述したり発表したりしている。	友達の見解などを参考にしながら、歌詞の内容や旋律と強弱とのかかわりに気付かせる。
【表現の技能】	歌詞の内容や旋律と強弱とのかかわりについて、複数気付いたことを生かして表現している。	歌詞の内容や旋律と強弱とのかかわりについて、いくつかある視点のうち、一つでも気を付けて表現している。	本時で学習したことを再確認させながら、仲間と共に表現できるように支援する。

(3) 本時の展開

段階	学習内容	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入 10 分	1. 前時の復習 2. 強弱記号の役割について 3. 学習課題の設定	○前時の学習の内容を振り返り、「流浪の民」を合唱する。 ○「流浪の民」に出てくる強弱記号を再確認させ、強弱記号の役割について考えさせる。 ○本時の学習課題を提示する。	○姿勢、口の開け方、声を出す方向、目線、発声の仕方等に注意しながら歌うように助言する。 ○強弱記号の意味を再確認しながら、ただ弱く・強くだけで歌うのではないことに気付かせる。
展 開 30 分	旋律の動きと強弱記号に込められた作曲家の想いを探り、表現を深めよう！！		
	4. 課題解決の見通し ①旋律の動きと強弱記号とのかかわりについて ②合唱(部分合唱) 5. 課題の追求 ①強弱記号から作曲家の思いを探る ②気付いたことを合唱に生かすための具体化・焦点化 ③合唱(部分合唱) 6. 課題のまとめ 合 唱	○「ぶなのもり～かがやけり」の主旋律(ソプラノ)に着目し、旋律の動きとp、f、クレシェンドの強弱記号のかかわりについて考えさせる。 ・個人で考える → 発表 ○気付いたことを意識しながら、「流浪の民」を部分合唱する。 ○「ぶなのもり～かがやけり」の部分で、なぜその強弱記号がそこについてのかを考えさせる。 ・個人で考える→パートで話し合う ○パート毎に気付いたことを発表させる ○気付いたこと合唱に生かすために具体的に焦点化する。 ○話し合ったことや気付いたことを生かすための技術面について意識させる。 ○話し合ったことや技術面で確認したことを生かしながら「流浪の民」を合唱する。	○「ぶなのもり～かがやけり」のソプラノを全員で歌唱して主旋律を確認させる。 ○音の高さや旋律の上がり下がりなどに着目させながら考えさせる。 ○「ぶなのもり～かがやけり」の部分だけ練習させる。 ○旋律の動き、音の高さ、調性、歌詞の内容などをもとに考えさせる。 ○主旋律に対して自分のパートはどうなっているかも考えさせる。 ○個人のイメージや考えをもとにしながらパートで話し合わせる。 ○各パートで出てきた意見をまとめ、焦点化する。 ○話し合った事を生かすための技術面の指導をする。 pで強調したいときは発音をはっきりさせ、腹筋も意識させる。 fも腹筋で支えながら歌うなど。 ○主旋律に対してパートでイメージしたことを生かしながら歌わせる。
終 末 10 分	7. 学習の振り返り 8. 次時の予告	・学習のまとめをする。 (各パートリーダーに今日の成果を発表してもらおう) (感想・自己評価を書く) ・次時の内容を確認する。	○ワークシートを回収する。

(4) 評価

- ①歌詞の内容や旋律と強弱とのかかわりに関心を持ち、意欲的に歌唱表現できたか。
(音楽への関心・意欲・態度)
- ②歌詞の内容や旋律と強弱とのかかわりを感じ取って、歌唱表現の工夫をすることができたか。
(音楽的な感受や表現の工夫)
- ③歌詞や内容や旋律と強弱とのかかわりを生かして、表現する技能を身に付いているか。(表現の技能)